

大崎地域を世界農業遺産へ vol.20



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp

大崎耕土の豊かさを語る⑤

大崎地域の「自然と共生する農業」



中央大学 教授
鷺谷いづみさん

「大崎耕土」は、この大地と稲作への深い理解と強い想いにもとづいて、農法や水路に工夫を重ねてきた先人たちの、近世からの努力の賜ともいえる豊かな穀倉地帯です。それは、地域コミュニティが育んだ、互いに思いやり協力を惜しまない「共生の文化」を基調とした稲作文化に支えられています。そのあらかの助け合いや思いやりは、わたしを含め、ここを訪れて地域の方たちと交流する者にとっては、地域の最大の魅力の一つです。

共生の「優しいまなざし」は、この地を季節的に訪れるマガン、ハクチョウなどの水鳥をはじめ、水田や水路を暮らしの場とする生きものたちにも向けられています。大崎地域は全国にさががけ、伝統的な知恵をも活かしながら、世界的に新たな課題となっている「生物多様性の保全」に貢献する共生農業の技術開発と実践を行い成功させています。生物多様性保全のための科学を専門とする研究者であるわたしは、その発想と実践に、深い敬意の念を抱かざるを得ません。それが効果的な取り組みであることは、マガンやハクチョウなどが生息数を増加させていることに表れています。

水田の生物多様性の現状を全国のどの地域にもまして熱心に調査し、斑点米の原因となるカメムシを食べて稲作に貢献するクモ類やカエル類などの役割を知っていらっしゃる農家の方たちは、水鳥だけでなく、小さな生き物たちにもやさしいまなざしを向けています。

わたしは、この地域の「自然と共生する農業」が産み出す貴重なお米を、消費者の一人として利用させていただいています。毎日おいしいお米をいただきながら、大崎耕土に広がる「共生の輪」の中に入れていただいていることを感謝しています。



水鳥と共生する水田農業

カエルも育む水田農業

さらに今年から、上質で洗練された旅を「深遊探訪」のコンセプトのもとに提供するJR東日本の「トランスアイト四季島」が、東北本線

今年、東北本線が開通して130周年、陸羽東線が全線開通して100周年、東北新幹線開業35周年の慶事を迎えます。

大崎市長 伊藤康志



天地人

復興・創生へ走る！トランスアイト四季島運行

市長コラム

「汽笛一声新橋をはや我汽車は離れたり……」と広く知られている鉄道唱歌の歌い始めです。鉄道唱歌は、全6集374番からなり、沿線の地理や歴史、民話や伝説、名産品の紹介を織り込んだ歌で、今という地域おこし応援歌です。

殖産興業(明治政府の新産業育成政策)が推し進められていた明治時代、鉄道は、旅客はもとより食糧、石炭などの大量物資を効率的に首都圏に運び込む国策として整備され、その後、電化、新幹線と、鉄道インフラは夢を乗せて着実に整備されてまいりました。

今年、東北本線が開通して130周年、陸羽東線が全線開通して100周年、東北新幹線開業35周年の慶事を迎えます。

と陸羽東線を走り、鳴子温泉駅に停車します。4年前からJR九州が運行する「ななつ星in九州」の東北版です。人口減少が進む中、地方創生の切り札は、観光による交流人口の拡大です。

「四季島」がもたらす効果は、単なる交通手段ではなく、地域の魅力の掘り起こしや、資源の磨き上げ、トレンド対応力やブランド力強化につながるものと期待し、2月13日に官民協働で「トランスアイト四季島」受け入れ大崎市実行委員会を立ち上げました。

内陸の復興モデル、地方創生成功モデルを目指す本市にとつて、「四季島」の運行は、未来に羽ばたく応援隊になるでしょう。

皆さんも「おもてなし」に参加してください。

2月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,118	+ 15	39,715	+ 25	77,833	+ 40	30,703
松山	3,029	- 5	3,185	- 5	6,214	- 10	2,185
三本木	4,000	- 5	4,048	- 7	8,048	- 12	2,689
鹿島台	5,860	- 2	6,279	+ 6	12,139	+ 4	4,545
岩出山	5,468	- 19	5,758	- 17	11,226	- 36	4,212
鳴子温泉	3,034	- 3	3,399	- 6	6,433	- 9	2,809
田尻	5,568	- 16	5,716	- 10	11,284	- 26	3,590
市全体	65,077	- 35	68,100	- 14	133,177	- 49	50,733

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

今月の納税

納期限: 3月31日(金)

軽自動車税	-
固定資産税・都市計画税	-
市県民税	-
国民健康保険税	-
介護保険料	-
後期高齢者医療保険料	第9期
個人事業税	-

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

2月13日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.03	0.04
三本木総合支所	0.06	0.07
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.04
鳴子総合支所	0.06	0.06
田尻総合支所	0.04	0.05

火災発生件数

(1月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	3件	- 1
林野火災	0件	0
車両火災	1件	+ 1
その他火災	0件	0
合計	4件	0

交通死亡事故件数

(2月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	0件	0
死亡者数	0人	0

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

3月号の主な内容

- 4 聴かせてください! あなたの家の防災対策
- 6 写真が伝えるおおさきの魅力
第7回おおさき観光写真コンテスト入賞作品発表
- 8 チャレンジ事業交付金・ステップアップ事業交付金
皆さんの地域の課題解決に二つの交付金が活用されています
- 10 十年物語 ~おおさき人の軌跡~
大崎市民生委員・児童委員協議会会長 高橋米徳さん
大崎図書館 おはなし会ボランティア 門脇京子さん
- 11 大崎市が進める地方創生
④ おおさき高校生タウンミーティング
- 12 市政トピックス 2月の主な出来事
- 13 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- 14 オオサキプレイガイド
- 16 ふるさと納税で 全国の皆さんから
あたたかい支援をいただきました ほか
- 18 今月のお知らせ
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか

パワ山崎さんの観光ひとくちメモ

その3

魅力ある温泉地を目指して

☎ 観光交流課 ☎ 23-7097



「観光振興ビジョン」の目標達成に向けて、観光拠点である鳴子温泉地域を対象としたワークショップが昨年12月11日と2月5日に開催されたよ。テーマは「10年後の魅力ある温泉地」。

地元観光関係者やまちづくり協議会メンバー、中学生や一般の皆さん、地域おこし協力隊員など、延べ70人が参加したんだ。



鳴子温泉に、今必要なものは何か、自分たちがしなければならないことやできることは何かなど、いっぱい話し合われたよ。

その結果、それぞれの立場で果たしていくべき役割をお互いに共有しながら、観光振興という同じ目標に向かっていくことが確認された。10年後の鳴子温泉も楽しみだな。

今月の表紙

2月4日・5日の2日間、鳴子温泉地域中山平地区で、「スノーランタンフェスタ in 中山平 2017」が、中山コミュニティセンターを会場に開催されました。4日は、ミツバチの巣から採取した「蜜ろう」で参加者オリジナルのろうそくを作り、その後、スノーランタン(雪灯籠)作りが行われました。

日が暮れて、大小さまざまな形の雪のブロックを積み上げて作ったスノーランタンに、蜜ろうそくのやさしい明りが灯ると、ランタンを透かして照らされる淡い光りによって、会場に幻想的な世界が広がりました。

5日には、落語や音楽演奏も行われ、雪深さを味方につけて人を呼び込み、寒い冬を楽しく過ごす2日間となりました。

